



鳴門岡崎のどんど焼き



令和2年1月12日（日）、撫養町岡崎の岡崎海岸で、小正月の行事でしめ縄などの正月飾りを燃やす「どんど焼き」が「鳴門縁の会」により行われました。正月飾り・古いお札・書き初め等を一箇所に積み上げて焼き、その火で焼いたものを食べるとその年の病を除くと言われていました。温かい豚汁が用意されており、今までの中で一番たくさんの方が集まりました。



金具は外して燃やします。



古いお札、願い札、正月のしめ飾りを焼き、その火でみかんを焼き無病息災を願います。

温かい豚汁が用意されており、暖をとります。